


## 学生提案成果報告(1) ⑤

<b>まちづくり駄菓子屋「おかしのいえ」</b>	
提案団体名：	宇都宮共和国陣内ゼミ
メンバー：	◎高橋 凌, 上野 聖矢, 松本 彩花, 妻木 えりの
指導教員：	陣内 雄次
審査結果：	特別賞受賞

### 【提案の要旨】

本提案は、駄菓子屋を通して多世代の交流を促し、宇都宮の各地においてささやかなにぎわいを日常的に喚起することを目的とする。

昭和初期から続いている駄菓子屋であるが、今日、駄菓子屋の数は減少傾向にある。また、近年は少子高齢化などに伴うコミュニティ力の衰退、加えて、新型コロナウイルス感染症の影響で、地域における多世代交流も抑制気味である。そこで本提案では、多世代交流とささやかな日常的なにぎわいを促すために、まちづくり駄菓子屋「おかしのいえ」を提案する。提案に当たっては、宇都宮市内の駄菓子屋の現地調査、駄菓子屋「おかしのいえ」の実施、アンケート調査、文献調査などに取り組んだ。



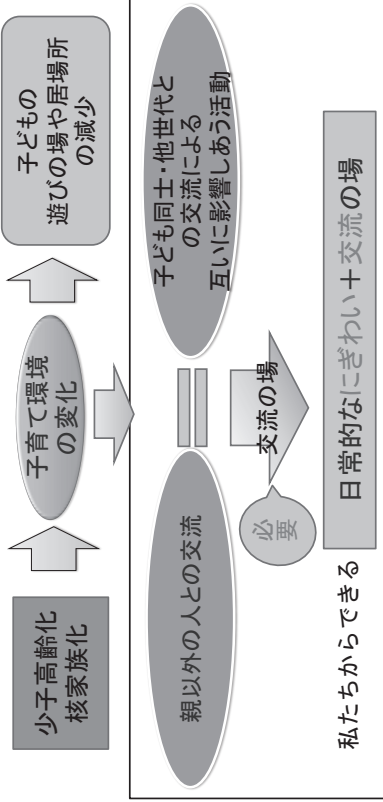
**まちづくり駄菓子屋**  
「おかしのいえ」

宇都宮共和国 陣内ゼミ  
2年生 ◎高橋凌 上野聖矢 妻木えりの 松本彩花

### 全体の構成

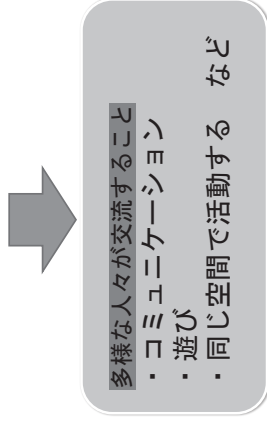
1. 背景
  2. 目的
  3. 私たちのにぎわいの定義
  4. 活動記録
  5. パーマ文具店への現地調査
  6. アンケートの実施
  7. 事業提案
- 現状分析

### 1. 背景



### 3. 私たちのにぎわいの定義

特別ではなく、日常の中にあるささやかなにぎわい



### 2. 目的

子ども同士や多世代間の交流の場の創出

コミュニティ内での日常的なにぎわいの提供

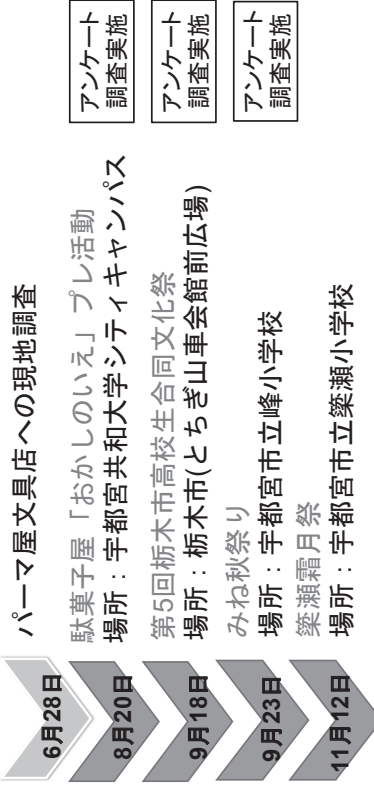
子ども達の社会性を育む後押し



駄菓子屋  
交流・日常的なにぎわい・居場所



### 4. 活動記録



## 6. アンケート調査の実施(概要)

-目的-  
よりよい駄菓子屋を展開していくための意識調査

<アンケートを実施した年月日・イベント名・場所>

2022年

- ・【8月20日】クールシェアコンサート(宇都宮共和大学シテイクキャンパス)
- ・【9月18日】第5回栃木市高校生合同文化祭(とちぎ山車会館前広場)
- ・【9月23日】みね秋祭り(宇都宮市立峰小学校)

<実際の回収数、年代別>

- ・回収数 216件
- ・年代別 小学生以下119人、中学生49人、19歳～50歳41人、51歳以上7人



## 5. パーマ屋文具店への現地調査

2022年6月28日

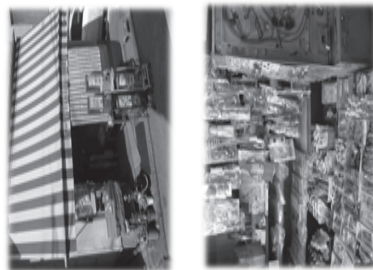
<学生の声>

- ・陳列された商品が子ども目線！
- ・買ったものをその場で飲食でき、そのためスペースがあった！
- ・扉がなく、気軽に入ることができる！

<店主の声>

- ・子どものときに来ていた子が大人になっても来てくれるんだよ～
- ・顧客は親子三世代に渡る！
- ・ほかの小学校区からも来てくれるよ！

地域や世代間をこえた日常的なにぎわいづくりが形成されている



2022年6月28日(撮影者: 栗内先生)

## アンケートの結果①

問 今までに駄菓子屋を利用したことはありませんか。

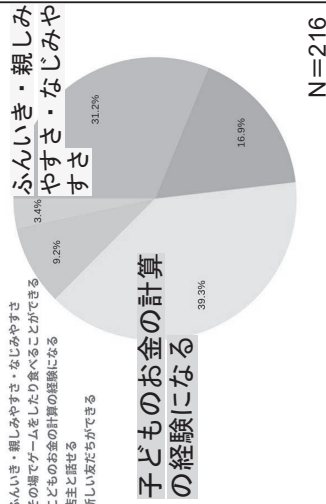


⇒ 駄菓子屋への潜在的なニーズがある

## アンケートの結果②

問 地元の駄菓子屋ならではの良さとはなんだと思いますか。

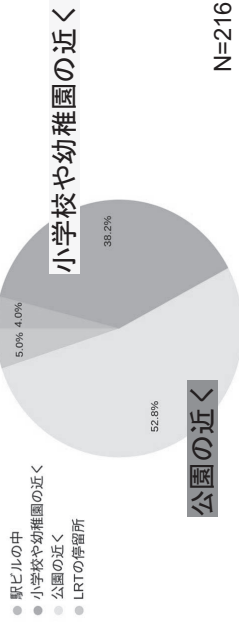
⇒購入する行為を通じて、社会性を育んだりお金のやり繰りの難しさや大切さを学ぶ  
⇒学校や習い事、家庭と隔絶された拘束のない独自の空間



N=216

## アンケートの結果④

問 どのところに駄菓子屋があったらにぎわうと思いますか。



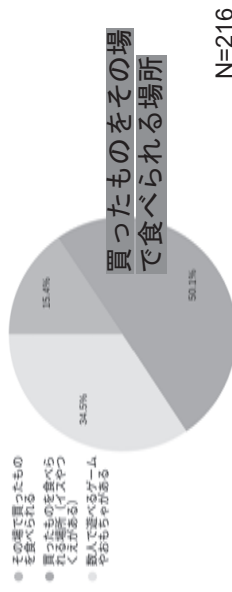
N=216

⇒子どもたちの生活空間により近い場所が理想的

## アンケートの結果③

問 駄菓子屋にどんなものがあっていいと思いますか。

⇒滞留空間が充実することで、子ども同士の交流の場や子どもの直接的な居場所となり得る



N=216

## 現状分析からわかったこと

<活動のまとめ>

・子どもが簡単に売り手になる経験ができる  
・子どもが子どもを呼ぶ

大学生が行う駄菓子屋の魅力  
移動販売の利点



駄菓子屋

日常的なにぎわいづくりにつながる

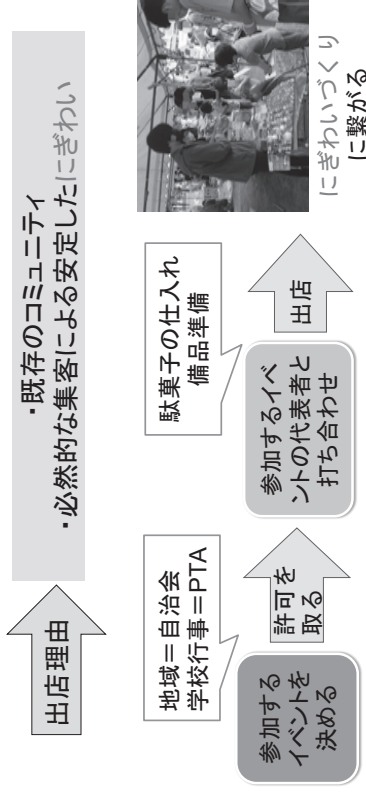
<アンケートのまとめ>

・潜在的なニーズがある  
・さまざまな機能を有する  
・子どもたちの生活空間により近く

## 7. 事業提案

- 提案1 駄菓子屋「おかしのいえ」の移動販売  
 提案2 リーフレット作成  
 ~駄菓子屋ブックあなたから始めるだがいやさん~  
 提案3 「駄菓子屋+〇〇」

### ①地域のイベント・学校行事などでの移動販売



### 提案 1

#### 駄菓子屋「おかしのいえ」移動販売

①地域のイベント・学校行事への出店

②公園での出店

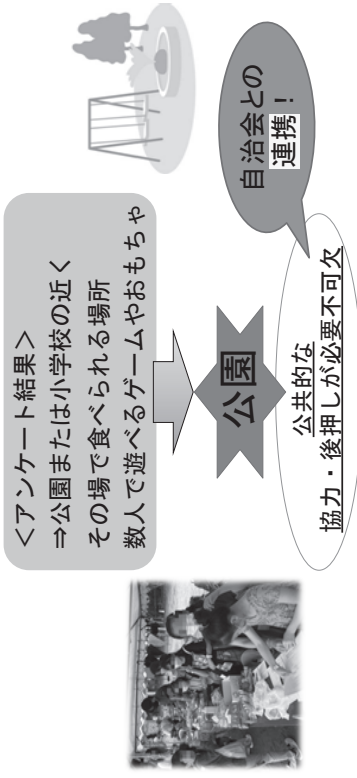


公園での出店のイメージ(A)

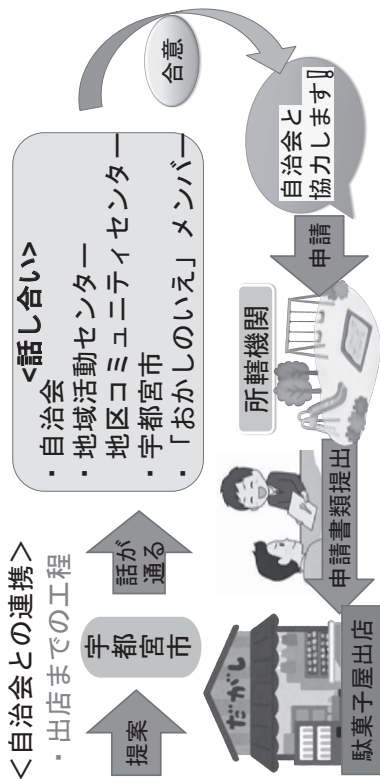


移動販売式の駄菓子屋のイメージ(B)

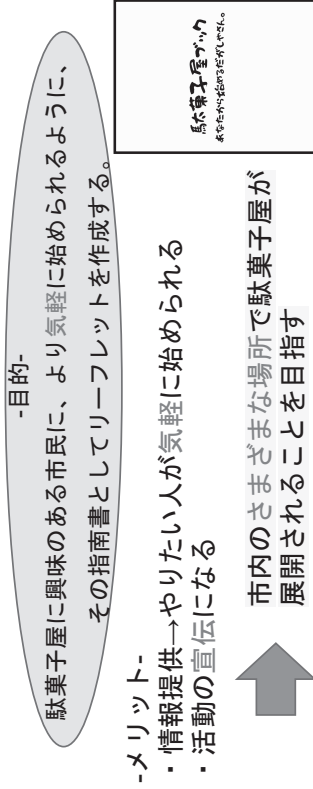
### ②公園における駄菓子屋の移動販売



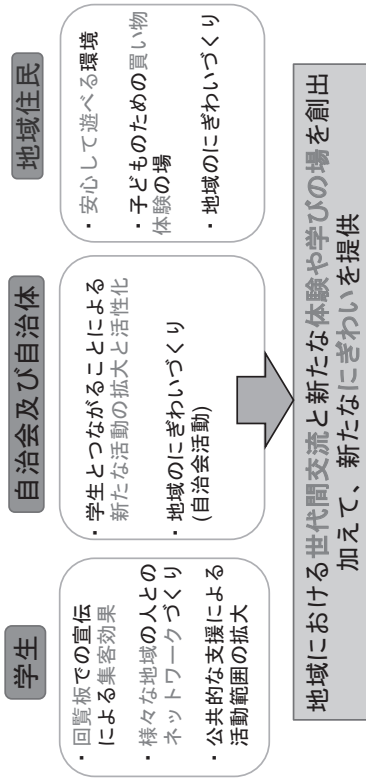
## 公園における出店の手順



## 提案2. 「(仮称)駄菓子屋ブック あなたから始めるのだがしやさん」

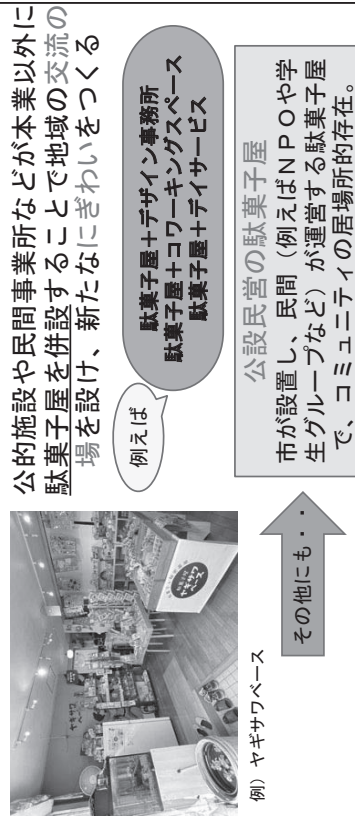


## <活動によるそれぞれのメリット>



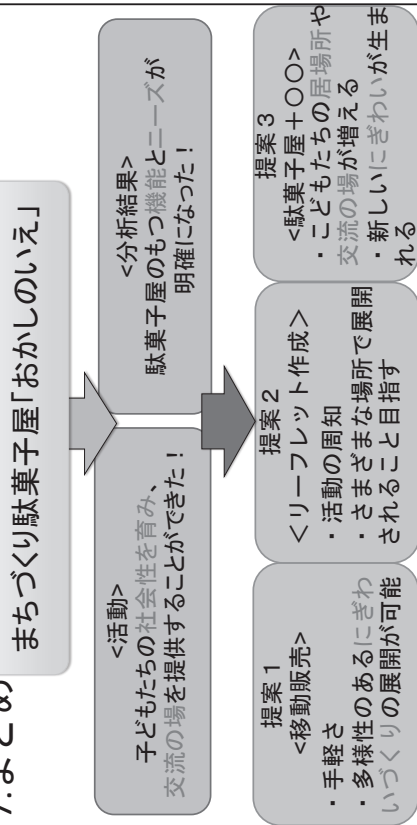
## 提案3

### 駄菓子屋+〇〇





## 7.まとめ



## 写真出典

A) ツバメアーキテクトゥ／マイパブリック屋台ツバメアーキテクトゥー  
TSUBAME ARCHITECTS >> [マイパブリック屋台](https://tbma.jp)  
([tbma.jp](https://tbma.jp)) (最終閲覧日2022年11月17日)

B) 古小島公園バザー開催！おしらせ | 福島市中央区薬院いふくまち保  
育園 <https://ifukumachi.jp/archives/870> 2022年10月21日 (最終閲覧日  
2022年11月19日)

## 参考文献

- 1) 岩本 廣美, 細谷 恵子「駄菓子屋の教育的機能 - 子どもと店員の  
関わりを通して-」『教育実践総合センター研究紀要』奈良教育大学  
教育学部附属教育実践総合センター, pp.65-74, 2005年
- 2) 加藤理「子どもの文化・社会に果たしていた 駄菓子屋の役割につ  
いて」紀要『子ども社会研究』第2号, pp.103-116, 1996年
- 3) 松田道雄『駄菓子屋築校 - 小さな店の大きな話・子どもが開く未  
来学-』新評論, 2002年

ご清聴ありがとうございました。